

## UMGCブリッジプログラム体験談

小林 靖典

(36歳・横須賀市役所国際交流課職員)

### ① どうしてブリッジプログラムを受講したいと思いましたか？

私が、当プログラムの受講を希望した理由は、仕事やプライベートで、もっと英語を使いたいと思ったからでした。私は、中学の頃からずっと英語が好きで、市役所に就職した後も、英語の勉強を続けていましたが、単語を覚えたり、時々TOEICを受けていた程度で、英語が実際に“役に立つ”機会はほとんどありませんでした。しかし、2017年に国際交流課に配属になったことで、より実用的な英語のスキルが必要になったため、ブリッジプログラム（2018年度）の受講を決意しました。

### ② このプログラムを受講して、学んだ知識や体験したことの中で、良かったと思うことを三つ教えてください。

#### 1、留学しているような体験

UMGCは、大学とは言え、基地の中にキャンパスがあるわけではなく、米軍人の福利厚生を扱うような建物で授業が行われます。教室と同じ階にあるカフェテリアでは、飲食物の購入が認められていて、日本では見たことのないお店を利用することができました。カフェテリアでは、米軍人の方々が、それぞれに時間を過ごしているので、まさにアメリカに留学しているような感覚を味わいました。

#### 2、全般的な英語のコミュニケーションスキル

授業は全て英語で行われるので、先生の発言を聞き漏らさないよう、かなり集中して授業を受けることとなります。また、授業中の限られた時間で教科書を読み、クラスメートとディスカッションすることが頻繁にあったので、いつの間にか、Listening, Reading, Speaking能力が向上したように思います。また、スライドを用いたプレゼンテーションでは、自分の考えを、いかに相手に伝えるかを考えさせられました。ボディランゲージや、表情、声の高低、態度など、英語に限らないコミュニケーションスキルも重要だと学びました。

#### 3、説得力のある文章を書く Writing スキル

大学で論文を書く時、ひいては、社会一般の文章を書く時には、書き手の意図を読み手にわかりやすく、正確に伝えることが大切です。このため、文章の

構成や (Introduction, Body Paragraph, Conclusion, etc)、文献参照 (Reference) を学びます。

また、先生には、自分が書いた文章を読んでもらい、冠詞 (Article) や、単・副 (Singular, Plural)、代名詞 (Pronoun)、時制 (Tense) の誤りを Feedback してもらうことで、文法上のミスに注意するようになりました。また、実は意外と知らないカンマ (,)、コロン (:), セミコロン (;) の使い方も、英文を書く上で、欠かせないスキルです。

さらに、大学の文章では、文章に説得力を持たせるために、文献参照を多用します。この文献参照をする時に、最も大切なことは、他人の文書を盗まないことです (Plagiarism: 盗用)。大学教育において、他人の文章をコピー・ペーストすることは、固く禁じられているため、Reference は、“必ず” 必要となります。

あまり Writing は必要じゃないと思う方もいると思います。しかし、英文を書くことは、文法の理解を深め、正確な英語を話すことにつながるため、私は英語を学ぶ上で、Writing が最も重要だと思っています。

③ このプログラムを通して、自分の中で変わったことを教えてください。

外国人と話す時に感じていた「少し怖い、どうしたらいいかわからない」という感覚はなくなりました。また、UMGC を通じて知り合った外国籍の友人とも英語でメールをしたり、海外のニュースを見聞きしたり、洋書も読むようになりました。このプログラムのおかげで、文字通り、自分の世界が広がっています。また、プログラムの後半には、自分の目標にしていた TOEIC860 点と英検準 1 級を達成しました。

④ 今後、このプログラムを通して得た経験や知識をどのように活かしていきたいですか。

私は今、UMGC で経営学修士 MBA (Master of Business Administration) を履修していて、今月、修了予定です。Master コースは、学士を有していることが条件となりますが、日本の大学の学位を互換することで、Master コースに進学することができます。私は在学時、海洋生物学を専攻していたため、MBA コースを履修できるのか不安でしたが、何事もなく全ての単位が互換され、無事に MBA をスタートすることができました。

MBA での授業では、Leadership や、財務諸表の分析のしかた、Marketing, Branding 戦略、企業の風土や倫理、企業を取り巻く法律、紛争解決など、組織や企業の経営に必要なことを学びます。具体的な課題の内容としては、会社運営についてのレポート書いたり、自分の声を録音したプレゼンテーションスライドを作ったり、グループワークとして、プロジェクト管理計画を策定したりと、

実際のビジネスさながらの内容となっています。ちなみに MBA コースにおいても、APA や Reference は必須なので、ブリッジプログラムでの経験がとても役立ちました。MBA 修了後も、引き続き、自分の英語力とビジネススキルを磨き、国際的に活躍できればと考えています。

⑤ このプログラムの受講を検討している方へ、メッセージをお願いします。

横須賀市は、その土地柄、英語を学ぶチャンスに恵まれており、英語を通して夢を叶えたいと思っている方には、最高の場所だと思います。実際に、私のクラスメートの中には、ブリッジプログラムを受けるために、横須賀市に引っ越してこられた方もいました。UMGC には、あなたの夢の実現をサポートしてくれる素晴らしい先生・スタッフがいます。是非、皆さんもここ横須賀で、夢を叶えるチャンスを掴んでください。